瑞二だより

発行
江戸川区立
瑞江第二中学校
校長 滝澤 清豪
発行日3月25日
東京都江戸川区
瑞江4-54-1

第58回卒業式 校長式辞より

やわらかな光の中で、大地の鼓動が確かな春の訪れを伝える今日、江戸川区危機管理部地域防災課長山田康友様をはじめ、多くのご来賓のみなさま、そして、保護者のみなさまのご臨席のもとに、江戸川区立瑞江第二中学校第58回卒業式が挙行できますことは、このうえない喜びであります。心からの感謝と御礼を申し上げます。

さて、ただいま、中学校3ヶ年の全課程を修了し、卒業証書を手にした140名の卒業生のみなさん。『卒業、おめでとうございませう。』皆さんが手にした卒業証書には、仲間とともに過ごした様々な思い出が刻み込まれており、かけがえのない3年間の重みを感じていることと思います。3年間の思い出を胸に旅立つみなさんに、今日私から伝えたいことがあります。それは「感謝」という言葉です。「今日、卒業したからお家

の人に感謝してください」

と当たり前のことではありません。2週間前の今日、日に東京都の子供笑顔プロジェクトの一環として、シンガーソングライターの大野靖之さんをお招きして、この体育館で全校生徒が参加して、音楽ライブが行われました。みなさんも記憶に新しいところですね。素晴らしい歌声・演奏と大野靖之さん自身のお話にも心が引き込まれ、みなさんが終了後に書いたお札の手紙には自分自身を見つめる機会になりました。今の自分は迷っていたが人生の希望が湧いたなどと感想を書く人がたくさんいました。大野さんの作品は3年生の道徳の教科書にも載っています。早くお母様を亡くされた思いを歌った曲、『天使が舞い降りた曲』の最後の一節

答えておくれ最後に
何も言わずに行くのかい
あなたの方も生きよう

いつも僕らを見ていて
伝えきれない僕らの事
いつか話せるその日まで
あなたに逢えてよかった

そして、大野さんの話の中で、「お母さんが生きていた時には、親孝行なことなんて何もしてなかった。しかし、若いうちは親孝行しようなんて思えないのは当たり前。元気に生きていくことが一番の親孝行」そう話してましたね。音楽ライブが終了した後、校長室で、大野さん、今回のライブを企画した田中先生、そして私の3名でお礼方々話をしました。この3人は親を早く亡くした共通項がありました。「大野さんの言うとおり、若い時は親に感謝の気持ちを伝えることはしなかつたです。しかし、今この年になって思えば、しておけば良かったと思います。」また、「親孝行したい時には親は無しと言いますね。」そして「大野さんが子供たちに言った言葉、中学生の時には中々感謝の気持ちには言えなくても、「生きてることが親孝行」、

です。その言葉よく分かります。」など公演を振り返りながら話が進みました。大野靖之さんの歌と言葉は、全生徒に響いたことでしょう。大野靖之さんの今後の活躍を期待して止みません。

みなさん、私からのお願いです。しかも、最後のお願いです。どうぞ今日だけは、お家に帰ったら、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お世話になった方々へどうぞ今日だけは、

「今日、中学校を卒業しました。ありがとうございました。」と感謝の言葉を述べてください。胸を張って、堂々と伝えてください。この言葉は今日言わなくては、今後一生言えない感謝の言葉です。そして、素晴らしい伝統を作ってくれたみなさんに、私から感謝の言葉を言いたいと思います。「ありがとう、そして、卒業おめでとう」

結びに、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。この3年間、本校の教育活動に深くご理解とご支援

をいただきまして誠にありがとうございました。本日、お子様の晴れの姿に、感慨ひとしおのこと存じます。ごらんとおり、たくましく立派に成長されました。しかし、これからの道のりは、決して楽な道ではありません。今後も一層の励ましとご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和六年三月一九日
江戸川区立瑞江第二中学校校長
滝澤 清豪

修了式 3月25日
「時間の支配」
皆さんおはようございます。

今日は令和5年度の修了式の日です。今日の話は「時間の支配」という話をします。まずは、先週の火曜日は第58回卒業式がありました。皆さんも3年生の卒業の門出を校庭で見送ってくれましたね。立派に卒業式を終えた3年生はとても素晴らしい生徒たちでした。さあ、これからは皆さんの時代が始まります。4月9日は入学式があつて、新入生が入ってきます。何か時間が経つのは早いと思いませんか自分の意思に関

わらず、時間はどんどん過ぎ、それに合わせて生活をしています。そして、時間が過ぎると同時に、自分たちもいろいろな経験をしたいかなければなりません。そう考えると、私たちの生活は時間に支配されていると言えませんか。何時になったら何をしなければならぬ。何時になったら何を止めなければならない。時間を支配されています。学校はどのようか。チャイムと同時に始まり、チャイムと同時に終わることの繰り返しです。学校によっては、ノーチャイムの学校もあります。時間が動くことが決まっているため、チャイムがないと時計を気にしなければなりません。休み時間では、いつ授業が始まるのか、常に残り時間を時計を見て気にする必要があります。しかし、実際ノーチャイムの学校も、何年か実施してもチャイムがある方が便利であると判断し、ノーチャイムを止める学校もあります。結局私たちは時間の束縛から逃れられないのでしょうか。

明日からは、春季休業が始まります。部活がある人もいるでしょうが、自分の判断で時間を過ごせること

が多い春季休業です。宿題も少なくしました。学校があるときに比べたら圧倒的に時間の過ごし方を自分で決めることができるでしょう。

ゲームをやる時間、スマホを見る時間、勉強・宿題をやる時間、家の手伝いをやる時間など自分で決めて、お家の方に宣言してみてください。時間を自分でコントロールすることになりますよ。自分で好きに決めたのですから、時間の支配から逃れることができます。やれる範囲でいいでしょう。やってみてください。お家の人もきつとびつくりすることでしょう。くれぐれも、お家の人からの支配(ああしない、こうしないなど)は受けられないようにしたいです。もう中学生なので、4月8日始業式に元気な姿で登校できるように願っています。

保護者の皆様へ
一年間本校の教育活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。また来年度も良い教育環境を作れるよう学校経営に力を注いで参ります。来年度も、よろしくお願いたします。校長 滝澤清豪